

令和3年7月30日

【照会先】

政策統括官付参事官付人口動態・保健社会統計室

統計管理官 仲津留 隆

室長 補佐 齋藤 重正 (内線 7471)

計析第二係 (内線 7472)

(代表電話) 03(5253)1111

(直通電話) 03(3595)2812

報道関係者 各位

人口動態統計特殊報告 令和3年度「出生に関する統計」 を公表します

厚生労働省では、このたび、令和3年度「出生に関する統計」の概況を取りまとめましたので公表します。

人口動態統計特殊報告は、毎年公表している人口動態統計のデータをもとに、出生、死亡、死産、婚姻、離婚の内容による数種類のテーマを主として、昭和59年度以降ほぼ毎年公表しています。

この概況では、令和元年までの結果をもとに、出生の動向について多面的に分析を行ったもので、今回で7回目となります。

【結果のポイント】

- 有配偶出生率をみると、総数では平成7年まで低下した後、上昇に転じており、平成27年では79.5（有配偶女子人口千対）となっている（4頁、表2）。
- 出生コーホート（同一期間に生まれた人の集団）別に、子を生んでいない女性の割合をみると昭和28年生まれが40歳の時は10.2%だったが、世代を追うごとに上昇傾向にあり、46年生まれの者は29.4%となっている。それ以後はほぼ横ばいである（12頁、表5）。
- 「結婚期間が妊娠期間よりも短い出生」の「嫡出第1子出生」に占める割合をみると近年は低下傾向にあり、令和元年は18.4%となっている（15頁、表6）。

詳細は、別添概況をご覧ください。